

令和3年度水道事業会計決算の概要

長浜水道企業団

1 業務の状況

市街地では宅地造成等により給水件数が増加していますが、長浜市北部を中心に給水人口が減少傾向にあります。また、新型コロナウイルス感染防止のためのいわゆる巣ごもりなど一般用の使用が減少する一方で、観光関連が徐々に回復に向かい、業務用の使用水量が若干回復しました。一般用と業務用を合わせると、使用水量は若干の減少となっています。地域ごとでは、企業団、びわでは横ばいですが、その他の地域では減少しています。

また、有収率が低い区域があり、漏水調査と修理の強化により漏水の削減に努めるとともに、水道管路の更新を進める必要があります。

区域	令和3年度	令和2年度	増減(率)
企業団	31,068 件	30,722 件	346 件 (1.1 %)
びわ	2,446 件	2,454 件	△ 8 件 (△ 0.3 %)
浅井	4,807 件	4,793 件	14 件 (0.3 %)
湖北	2,937 件	2,924 件	13 件 (0.4 %)
高月	3,729 件	3,685 件	44 件 (1.2 %)
木之本	2,143 件	2,148 件	△ 5 件 (△ 0.2 %)
余呉 木之本	1,675 件	1,682 件	△ 7 件 (△ 0.4 %)
西浅井	1,594 件	1,607 件	△ 13 件 (△ 0.8 %)
計	50,399 件	50,015 件	384 件 (0.8 %)

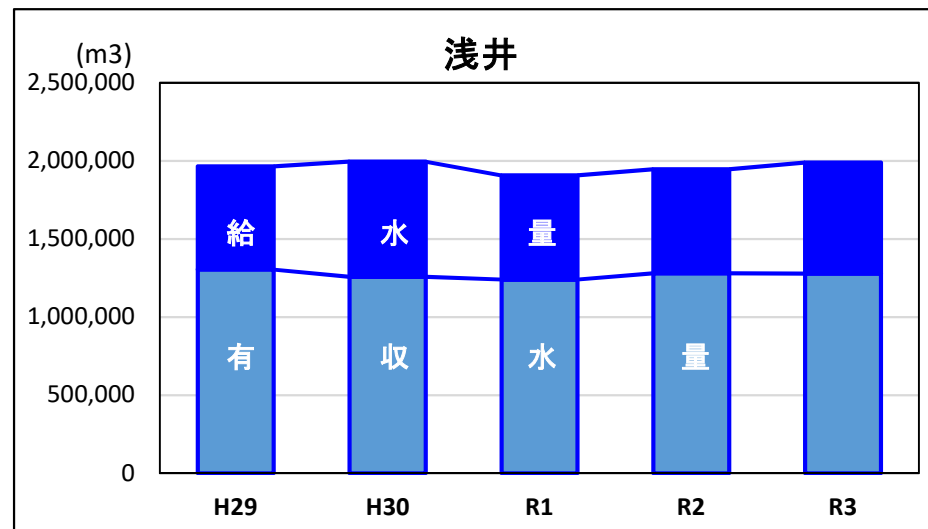
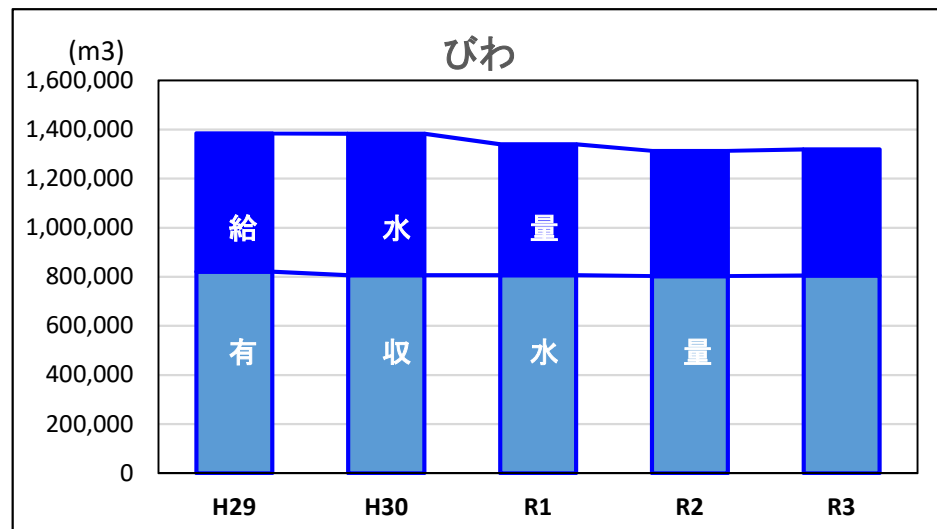
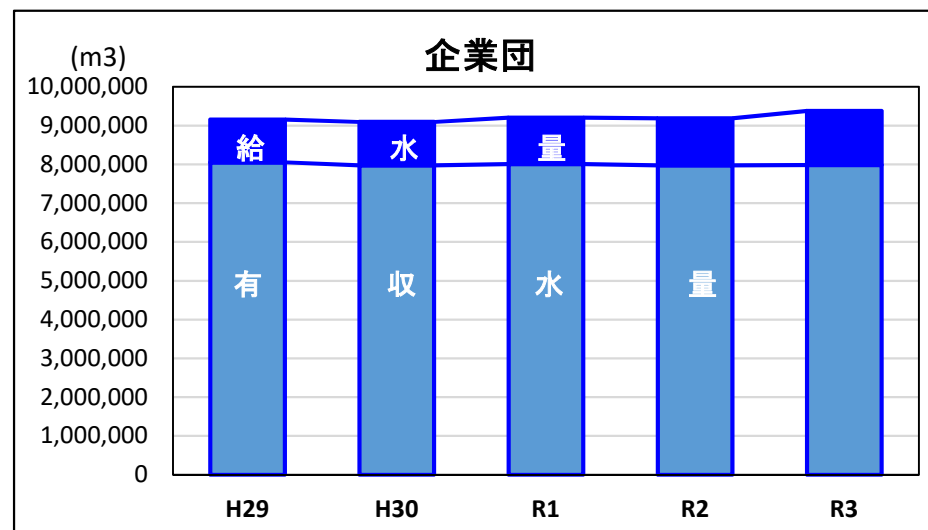
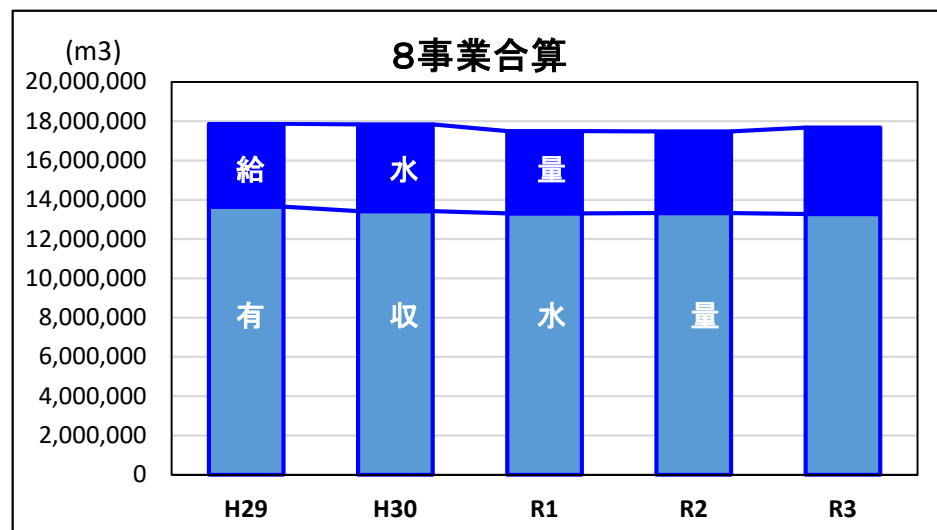
区域	令和3年度	令和2年度	増減(率)
企業団	75,151 人	75,470 人	△ 319 人 (△ 0.4 %)
びわ	6,391 人	6,485 人	△ 94 人 (△ 1.4 %)
浅井	12,564 人	12,704 人	△ 140 人 (△ 1.1 %)
湖北	8,009 人	8,125 人	△ 116 人 (△ 1.4 %)
高月	10,286 人	10,338 人	△ 52 人 (△ 0.5 %)
木之本	5,016 人	5,130 人	△ 114 人 (△ 2.2 %)
余呉木 之本	3,266 人	3,358 人	△ 92 人 (△ 2.7 %)
西浅井	3,614 人	3,713 人	△ 99 人 (△ 2.7 %)
計	124,297 人	125,323 人	△ 1,026 人 (△ 0.8 %)

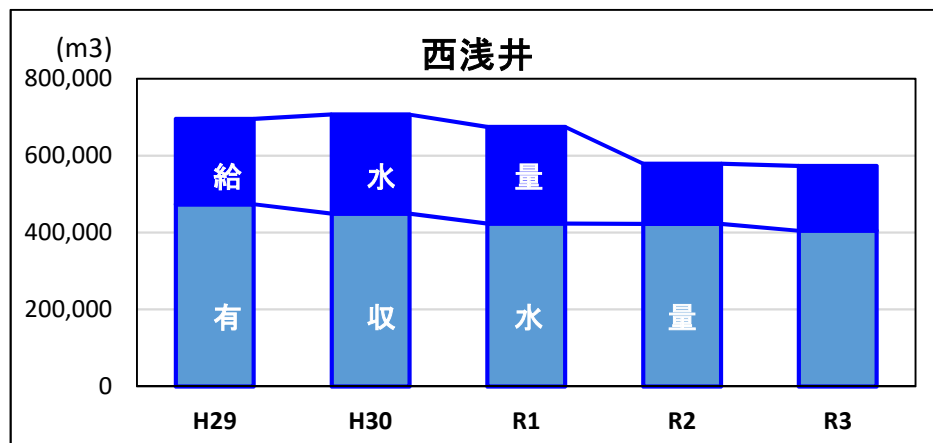
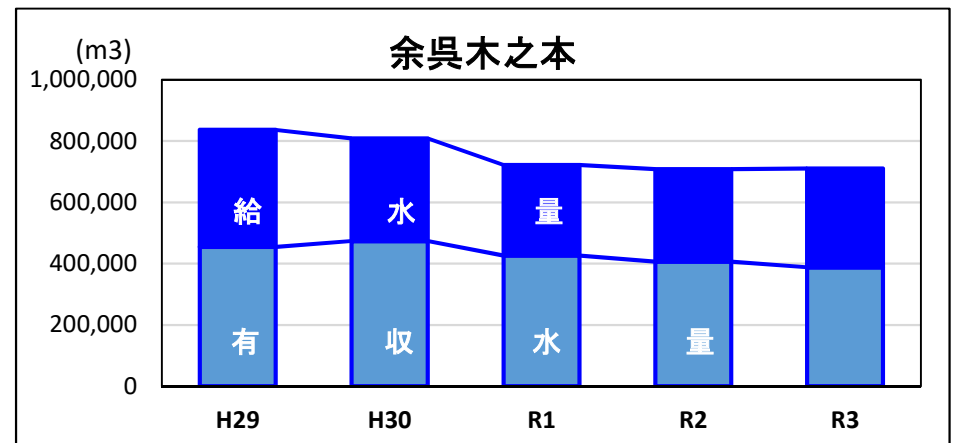
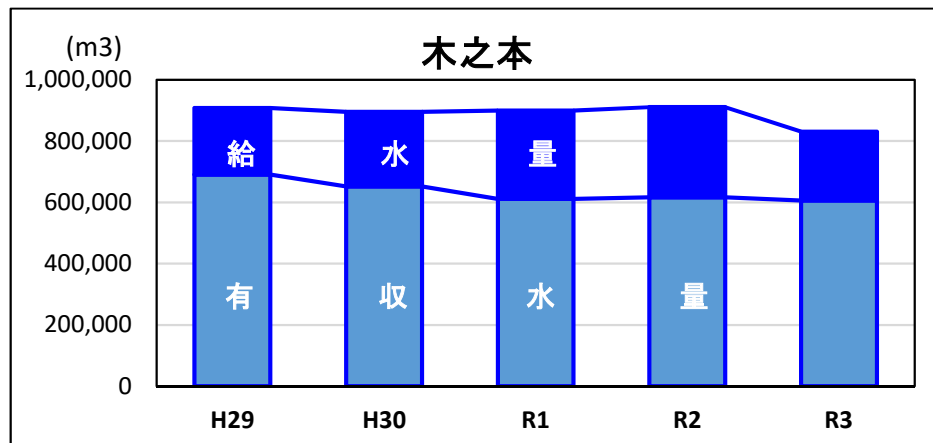
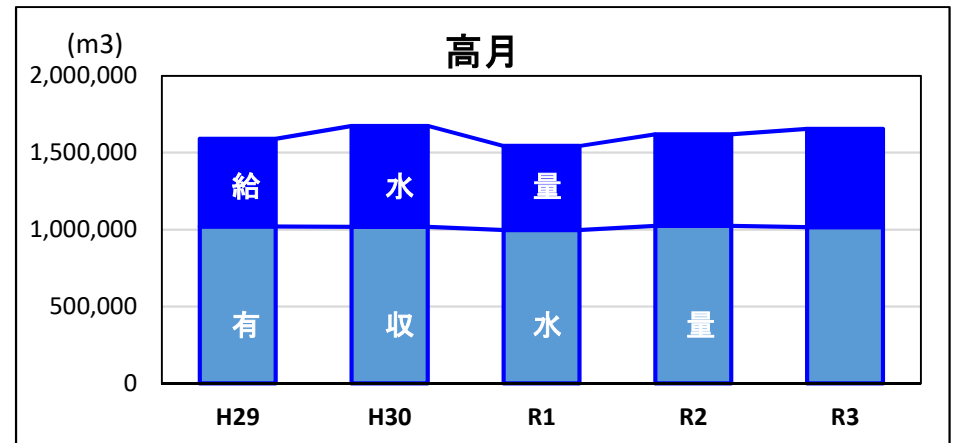
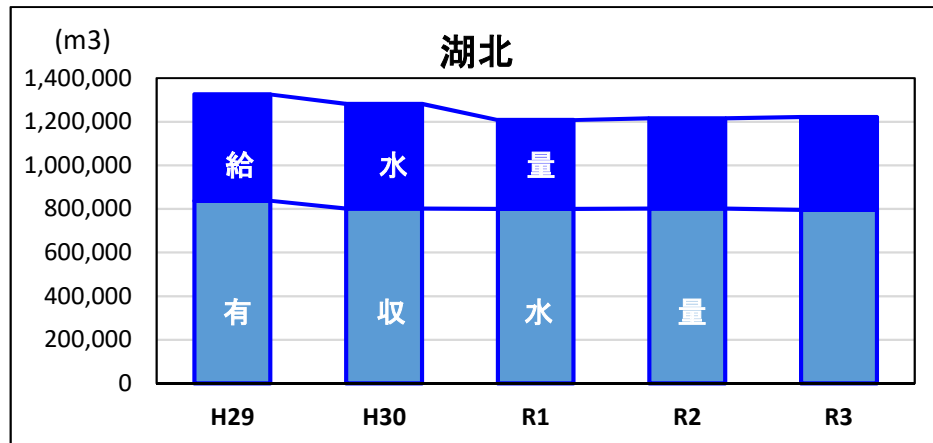
項目	区域	令和3年度	令和2年度	増減(率)	
年間給水量	企業団	9,377,936 m3	9,188,458 m3	189,478 m3	(2.1 %)
	びわ	1,318,331 m3	1,312,719 m3	5,612 m3	(0.4 %)
	浅井	1,989,916 m3	1,945,989 m3	43,927 m3	(2.3 %)
	湖北	1,221,463 m3	1,215,626 m3	5,837 m3	(0.5 %)
	高月	1,654,855 m3	1,619,918 m3	34,937 m3	(2.2 %)
	木之本	831,207 m3	910,777 m3	△ 79,570 m3	(△ 8.7 %)
	余呉木之本	710,404 m3	708,580 m3	1,824 m3	(0.3 %)
	西浅井	572,942 m3	578,125 m3	△ 5,183 m3	(△ 0.9 %)
	計	17,677,054 m3	17,480,192 m3	196,862 m3	(1.1 %)
年間有収水量	企業団	7,979,656 m3	7,974,572 m3	5,084 m3	(0.1 %)
	びわ	805,788 m3	803,149 m3	2,639 m3	(0.3 %)
	浅井	1,277,250 m3	1,280,986 m3	△ 3,736 m3	(△ 0.3 %)
	湖北	795,566 m3	802,011 m3	△ 6,445 m3	(△ 0.8 %)
	高月	1,016,474 m3	1,024,147 m3	△ 7,673 m3	(△ 0.7 %)
	木之本	606,289 m3	616,143 m3	△ 9,854 m3	(△ 1.6 %)
	余呉木之本	388,047 m3	406,668 m3	△ 18,621 m3	(△ 4.6 %)
	西浅井	404,721 m3	422,212 m3	△ 17,491 m3	(△ 4.1 %)
	計	13,273,791 m3	13,329,888 m3	△ 56,097 m3	(△ 0.4 %)
有収率	企業団	85.1 %	86.8 %	△ 1.7 P	
	びわ	61.1 %	61.2 %	△ 0.1 P	
	浅井	64.2 %	65.8 %	△ 1.6 P	
	湖北	65.1 %	66.0 %	△ 0.9 P	
	高月	61.4 %	63.2 %	△ 1.8 P	
	木之本	72.9 %	67.7 %	5.2 P	
	余呉木之本	54.6 %	57.4 %	△ 2.8 P	
	西浅井	70.6 %	73.0 %	△ 2.4 P	
	計	75.1 %	76.3 %	△ 1.2 P	

※有収率＝年間有収水量÷年間給水量

※給水量と有収水量の差が、漏水や火災の消火用水です。

給水量・有収水量の推移





2

収益的収支の状況

収入は、水道料金は一般用の減少と業務用の増加を合わせるとほぼ横ばいとなり、公共工事に伴う支障移設の受託工事収益や新規加入金が減少したことから、収入全体で若干減少しました。支出は、低金利政策による支払利息の減少、償却期間終了による減価償却費の減少や徹底したコスト削減により、支出全体で若干減少しました。

(千円)

収入	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉・木之本	西浅井	合計
(1)給水収益	1,278,451	125,607	197,506	124,376	123,859	125,731	62,489	63,172	2,101,191
(2)受託工事収益	13,235	3	52	29	28	543	227	7	14,124
(3)受託事業収益	43,398	3,396	6,675	4,482	6,211	3,717	2,793	1,937	72,609
(4)その他営業収益	11,152	324	639	312	387	99	104	76	13,093
(5)受取利息	3,835	1,023	743	750	740	275	0	0	7,366
(6)加入金	48,291	2,600	4,200	3,120	3,000	60	360	420	62,051
(7)負担金	19,403	2,100	8,578	5,800	2,990	1,530	3,740	4,721	48,862
(8)長期前受金戻入	163,492	19,112	15,177	11,261	36,975	44,766	40,362	12,550	343,695
(9)雑収益	1,416	35	28	6	13	0	6	152	1,656
総収入	1,582,673	154,200	233,598	150,136	174,203	176,721	110,081	83,035	2,664,647
支出	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉・木之本	西浅井	合計
(1)原浄水費	203,593	19,777	31,005	18,516	24,120	37,013	20,978	17,156	372,158
(2)給配水費	148,750	2,339	4,036	2,085	1,662	1,779	773	1,588	163,012
(3)業務費	111,720	11,133	12,681	3,895	12,334	4,571	3,897	1,198	161,429
(4)総係費	132,059	371	647	375	408	271	140	155	134,426
(5)減価償却費	548,866	44,899	100,259	76,707	92,500	98,362	75,678	52,800	1,090,071
(6)資産減耗費	141	0	0	2,825	90	17,305	0	0	20,361
(7)その他営業費用	3,457	99	237	153	138	15	30	28	4,157
(8)支払利息	100,048	6,078	11,615	7,581	12,013	18,792	5,669	7,423	169,219
(9)雑支出	4,285	1,241	1,030	982	525	363	693	755	9,874
(10)予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総支出	1,252,919	85,937	161,510	113,119	143,790	178,471	107,858	81,103	2,124,707
純利益	329,754	68,263	72,088	37,017	30,413	△ 1,750	2,223	1,932	539,940
当年度未処分利益剰余金	837,417	222,313	227,082	358,191	254,115	△ 194,176	63,159	15,941	1,784,042

(1) 企業団水道事業

収入	1,717,726 千円 (1,582,673 千円)
支出	1,367,486 千円 (1,252,919 千円)
差引	329,754 千円	
令和2年度繰越利益剰余金	507,663 千円	
令和3年度未処分利益剰余金	837,417 千円	

(収益的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業 収益	1,717,726	1,759,382	△ 41,656 (△ 2.4 %)
水道料金	1,406,296	1,404,464	1,832 (0.1 %)
受託工事 収益	14,558	29,559	△ 15,001 (△ 50.7 %)
受託事業 収益	43,398	41,242	2,156 (5.2 %)
加入金	53,121	76,934	△ 23,813 (△ 31.0 %)
負担金	19,528	19,722	△ 194 (△ 1.0 %)
長期前受金 戻入	163,492	166,696	△ 3,204 (△ 1.9 %)
その他	17,333	20,765	△ 3,432 (△ 16.5 %)

※ 負担金内訳

消火栓設置に伴う施設増加維持管理費15,279千円

(うち長浜市13,251千円、米原市2,028千円)

児童手当に要する経費2,876千円

(うち長浜市2,652千円、米原市224千円)

公営企業会計システム負担金491千円(長浜市)

水道メーター交換に係る経費881千円(米原市)

安定した収益が確保でき、良好な経営状況となっております。

令和3年度は3億2,975万4千円の黒字となり、このうち3億円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業 費用	1,367,486	1,376,745	△ 9,259 (△ 0.7 %)
原浄水費	220,373	198,319	22,054 (11.1 %)
給配水費	153,681	137,709	15,972 (11.6 %)
業務費	115,927	110,809	5,118 (4.6 %)
総係費	132,857	155,333	△ 22,476 (△ 14.5 %)
減価償却費	549,007	553,008	△ 4,001 (△ 0.7 %)
支払利息	100,048	115,587	△ 15,539 (△ 13.4 %)
その他の 費用	7,772	8,854	△ 1,082 (△ 12.2 %)
消費税	87,821	97,126	△ 9,305 (△ 9.6 %)

(2) びわ上水道事業

収入	167,048 千円 (154,200 千円)
支出	98,526 千円 (85,937 千円)
差引		68,263 千円
令和2年度繰越利益剰余金		154,050 千円
令和3年度未処分利益剰余金		222,313 千円

令和3年度は、6,826万3千円の黒字となり良好な経営状況となっております。3千万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

今後、企業団水道事業への統合を予定しており、工事費の増加が見込まれます。

(収益的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	167,048	165,981	1,067 (0.6 %)
水道料金	138,168	137,703	465 (0.3 %)
受託工事収益	3	0	3 (- %)
受託事業収益	3,396	3,230	166 (5.1 %)
加入金	2,860	2,002	858 (42.9 %)
負担金	2,100	2,100	0 (0.0 %)
長期前受金戻入	19,112	19,356	△ 244 (△ 1.3 %)
その他	1,409	1,590	△ 181 (△ 11.4 %)

※ 負担金内訳
消火栓設置に伴う施設増加維持管理費2,100千円

(収益的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	98,526	102,832	△ 4,306 (△ 4.2 %)
原浄水費	20,935	20,516	419 (2.0 %)
給配水費	2,550	4,877	△ 2,327 (△ 47.7 %)
業務費	11,352	11,642	△ 290 (△ 2.5 %)
総係費	404	716	△ 312 (△ 43.6 %)
減価償却費	44,899	45,706	△ 807 (△ 1.8 %)
支払利息	6,078	7,795	△ 1,717 (△ 22.0 %)
その他の費用	1,342	409	933 (228.1 %)
消費税	10,966	11,171	△ 205 (△ 1.8 %)

(3) 浅井上水道事業

収入	253,825 千円 (233,598 千円)
支出	182,242 千円 (161,510 千円)
差引	72,088 千円	
令和2年度繰越利益剰余金	154,994 千円	
令和3年度未処分利益剰余金	227,082 千円	

簡易水道統合事業に伴う企業債の支払利息や減価償却費の負担が大きいものの、経営状況は良好です。また、統合時の企業債の元利償還(利息)の2分の1が長浜市から繰り入れられています。これらにより、令和3年度は7,208万8千円の黒字となり、このうち2千万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	253,825	256,462	△ 2,637 (△ 1.0 %)
水道料金	217,257	217,959	△ 702 (△ 0.3 %)
受託工事収益	58	275	△ 217 (△ 78.9 %)
受託事業収益	6,675	7,487	△ 812 (△ 10.8 %)
加入金	4,620	4,224	396 (9.4 %)
負担金	8,578	9,093	△ 515 (△ 5.7 %)
長期前受金戻入	15,177	15,930	△ 753 (△ 4.7 %)
その他	1,460	1,494	△ 34 (△ 2.3 %)

※ 負担金内訳
 消火栓設置に伴う施設増加維持管理費3,000千円
 簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費5,578千円
 (長浜市)

(収益的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	182,242	196,708	△ 14,466 (△ 7.4 %)
原浄水費	33,382	32,066	1,316 (4.1 %)
給配水費	4,413	6,053	△ 1,640 (△ 27.1 %)
業務費	13,126	15,611	△ 2,485 (△ 15.9 %)
総係費	701	1,177	△ 476 (△ 40.4 %)
減価償却費	100,259	111,090	△ 10,831 (△ 9.7 %)
支払利息	11,625	12,656	△ 1,031 (△ 8.1 %)
その他の費用	1,263	1,427	△ 164 (△ 11.5 %)
消費税	17,473	16,628	845 (5.1 %)

(4) 湖北簡易水道事業

収入	162,908 千円 (150,136 千円)
支出	121,363 千円 (113,119 千円)
差引	37,017 千円	
令和2年度繰越利益剰余金	321,174 千円	
令和3年度未処分利益剰余金	358,191 千円	

安定した経営状況を維持しています。また、簡易水道に対し企業債の元利償還(利息)の2分の1が長浜市から繰り入れられています。これらにより、令和3年度は3,701万7千円の黒字となりました。このうち1千万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	162,908	162,200	708 (0.4 %)
水道料金	136,814	137,983	△ 1,169 (△ 0.8 %)
受託工事収益	31	75	△ 44 (△ 58.7 %)
受託事業収益	4,482	4,216	266 (6.3 %)
加入金	3,432	1,254	2,178 (173.7 %)
負担金	5,800	6,211	△ 411 (△ 6.6 %)
長期前受金戻入	11,261	11,271	△ 10 (△ 0.1 %)
その他	1,088	1,190	△ 102 (△ 8.6 %)

※ 負担金内訳
 消火栓設置に伴う施設増加維持管理費1,990千円
 簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費3,810千円
 (長浜市)

(収益的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	121,363	119,810	1,553 (1.3 %)
原浄水費	19,878	19,682	196 (1.0 %)
給配水費	2,272	3,501	△ 1,229 (△ 35.1 %)
業務費	4,214	3,634	580 (16.0 %)
総係費	409	726	△ 317 (△ 43.7 %)
減価償却費	79,532	76,573	2,959 (3.9 %)
支払利息	7,581	8,439	△ 858 (△ 10.2 %)
その他の費用	1,137	1,192	△ 55 (△ 4.6 %)
消費税	6,340	6,063	277 (4.6 %)

(5) 高月上水道事業

収入	186,913 千円 (174,203 千円)
支出	156,826 千円 (143,790 千円)
差引	30,413 千円	
令和2年度繰越利益剰余金	223,702 千円	
令和3年度未処分利益剰余金	254,115 千円	

良質な地下水源を有しているため給水原価が低く、水道料金が低い中でも良好な経営状況で、令和3年度は3,041万3千円の黒字となりました。このうち1千万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

今後、管路の漏水修理費用の増加が見込まれるとともに、浄水場や配水池の増強、管路の更新を予定しており、経営状況の悪化が懸念されます。

(収益的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	186,913	188,176	△ 1,263 (△ 0.7 %)
水道料金	136,245	136,556	△ 311 (△ 0.2 %)
受託工事収益	31	64	△ 33 (△ 51.6 %)
受託事業収益	6,211	6,286	△ 75 (△ 1.2 %)
加入金	3,300	2,310	990 (42.9 %)
負担金	2,991	3,033	△ 42 (△ 1.4 %)
長期前受金戻入	36,975	37,735	△ 760 (△ 2.0 %)
その他	1,160	2,192	△ 1,032 (△ 47.1 %)

※ 負担金内訳
 消火栓設置に伴う施設増加維持管理費2,220千円
 簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費770千円
 (長浜市)

(収益的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	156,826	166,706	△ 9,880 (△ 5.9 %)
原浄水費	25,950	22,655	3,295 (14.5 %)
給配水費	1,806	2,249	△ 443 (△ 19.7 %)
業務費	12,785	16,656	△ 3,871 (△ 23.2 %)
総係費	444	788	△ 344 (△ 43.7 %)
減価償却費	92,591	103,839	△ 11,248 (△ 10.8 %)
支払利息	12,013	12,541	△ 528 (△ 4.2 %)
その他の費用	663	1,323	△ 660 (△ 49.9 %)
消費税	10,574	6,655	3,919 (58.9 %)

(6) 木之本上水道事業

収入	185,638 千円 (176,721 千円)
支出	191,351 千円 (178,471 千円)
差引	△ 1,750 千円	
令和2年度繰越利益剰余金	△ 192,426 千円	
令和3年度未処分利益剰余金	△ 194,176 千円	

大音浄水場建設に伴う企業債の支払利息や減価償却だけでなく、維持管理費用も含め、高額な原価となっています。あらゆるコスト削減により原価の抑制を図っていますが、令和3年度は175万円の赤字、1億9千万円を超える累積赤字となっています。

今後、高月上水道事業への接続工事などにより、工事費の増加が見込まれます。

(収益的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	185,638	186,304	△ 666 (△ 0.4 %)
水道料金	138,304	139,602	△ 1,298 (△ 0.9 %)
受託工事収益	560	437	123 (28.1 %)
受託事業収益	3,717	4,039	△ 322 (△ 8.0 %)
加入金	66	462	△ 396 (△ 85.7 %)
負担金	1,530	1,530	0 (0.0 %)
長期前受金戻入	41,083	39,728	1,355 (3.4 %)
その他	378	506	△ 128 (△ 25.3 %)

※ 負担金内訳
消火栓設置に伴う施設増加維持管理費1,530千円

(収益的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	191,351	193,135	△ 1,784 (△ 0.9 %)
原浄水費	39,599	39,124	475 (1.2 %)
給配水費	1,927	1,695	232 (13.7 %)
業務費	4,899	4,337	562 (13.0 %)
総係費	295	523	△ 228 (△ 43.6 %)
減価償却費	115,667	117,015	△ 1,348 (△ 1.2 %)
支払利息	18,793	20,188	△ 1,395 (△ 6.9 %)
その他の費用	384	343	41 (12.0 %)
消費税	9,787	9,910	△ 123 (△ 1.2 %)

(7) 余呉木之本簡易水道事業

収入	116,394 千円 (110,081 千円)
支出	112,046 千円 (107,858 千円)
差引	2,223 千円	
令和2年度繰越利益剰余金	60,936 千円	
令和3年度未処分利益剰余金	63,159 千円	

徹底した支出の抑制や簡易水道に対し企業債の元利償還(利息)の2分の1が長浜市から繰り入れられていることで経営を維持しており、また、大規模な漏水が少なかったことから、令和3年度は222万3千円の黒字となりました。

しかし、今後老朽施設の更新が必要となるため、さらなる経営の悪化が懸念されます。

(収益的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	116,394	119,375	△ 2,981 (△ 2.5 %)
水道料金	68,737	71,875	△ 3,138 (△ 4.4 %)
受託工事収益	250	0	250 (- %)
受託事業収益	2,793	2,235	558 (25.0 %)
加入金	396	352	44 (12.5 %)
負担金	3,740	3,941	△ 201 (△ 5.1 %)
長期前受金戻入	40,362	40,897	△ 535 (△ 1.3 %)
その他	116	75	41 (54.7 %)

※ 負担金内訳
消火栓設置に伴う施設増加維持管理費904千円
簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費2,836千円
(長浜市)

(収益的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	112,046	117,569	△ 5,523 (△ 4.7 %)
原浄水費	22,669	23,161	△ 492 (△ 2.1 %)
給配水費	829	2,005	△ 1,176 (△ 58.7 %)
業務費	4,170	2,605	1,565 (60.1 %)
総係費	152	270	△ 118 (△ 43.7 %)
減価償却費	75,678	77,171	△ 1,493 (△ 1.9 %)
支払利息	5,669	6,074	△ 405 (△ 6.7 %)
その他の費用	738	432	306 (70.8 %)
消費税	2,141	5,851	△ 3,710 (△ 63.4 %)

(8) 西浅井簡易水道事業

収入	89,401 千円 (83,035 千円)
支出	89,822 千円 (81,103 千円)
差引	1,932 千円	
令和2年度繰越利益剰余金	14,009 千円	
令和3年度未処分利益剰余金	15,941 千円	

徹底した支出の抑制や簡易水道に対し企業債の元利償還(利息)の2分の1が長浜市から繰り入れられていることで経営を維持しており、令和3年度は193万2千円の黒字となりました。

今後維持管理費用の増加や老朽施設の更新が必要となるため、さらなる経営の悪化が懸念されます。

(収益的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	89,401	93,804	△ 4,403 (△ 4.7 %)
水道料金	69,489	72,596	△ 3,107 (△ 4.3 %)
受託工事収益	7	24	△ 17 (△ 70.8 %)
受託事業収益	1,938	2,924	△ 986 (△ 33.7 %)
加入金	462	330	132 (40.0 %)
負担金	4,721	5,158	△ 437 (△ 8.5 %)
長期前受金戻入	12,550	12,550	0 (0.0 %)
その他	234	222	12 (5.4 %)

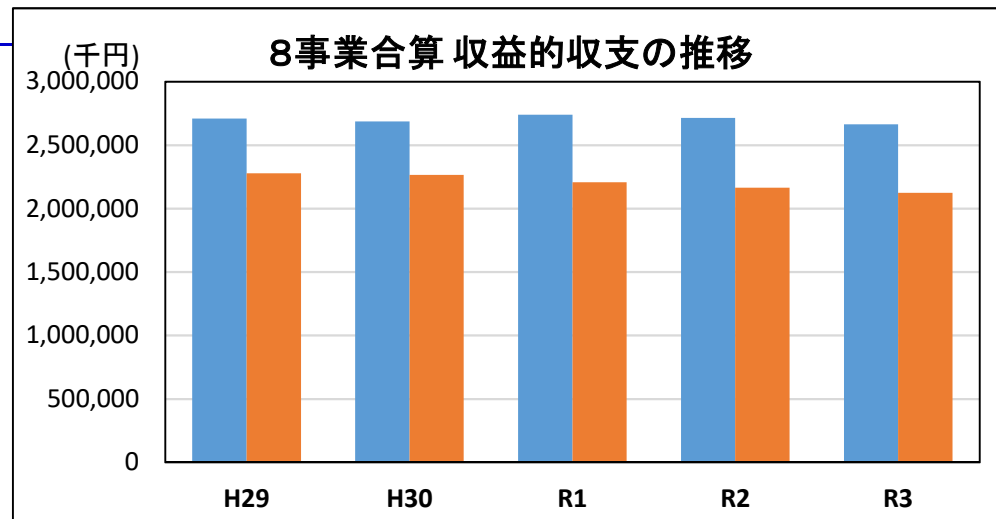
※ 負担金内訳
 消火栓設置に伴う施設増加維持管理費1,005千円
 簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費3,716千円
 (長浜市)

(収益的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	89,822	93,006	△ 3,184 (△ 3.4 %)
原浄水費	18,508	19,696	△ 1,188 (△ 6.0 %)
給配水費	1,737	1,737	0 (0.0 %)
業務費	1,309	3,501	△ 2,192 (△ 62.6 %)
総係費	168	301	△ 133 (△ 44.2 %)
減価償却費	52,800	52,121	679 (1.3 %)
支払利息	7,423	8,296	△ 873 (△ 10.5 %)
その他の費用	795	772	23 (3.0 %)
消費税	7,082	6,582	500 (7.6 %)

(9) 8事業合算

収入	2,879,853千円	(2,664,647千円)
支出	2,319,662千円	(2,124,707千円)
差引	539,940千円		
令和2年度繰越利益剰余金	1,244,102千円		
令和3年度未処分利益剰余金	1,784,042千円		



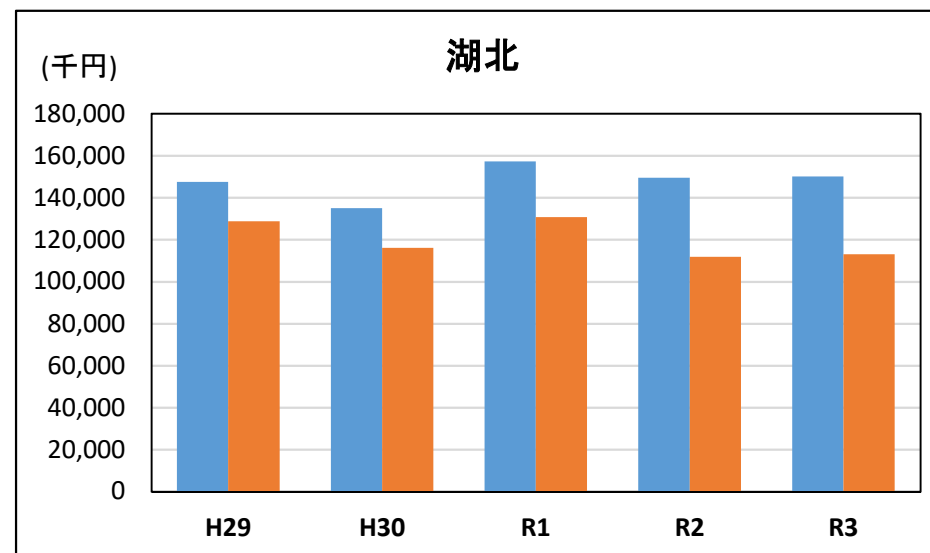
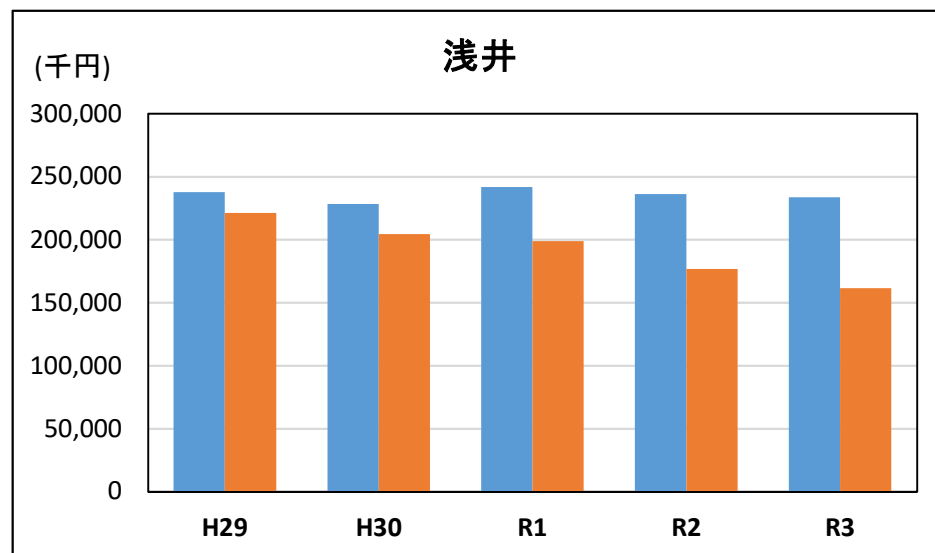
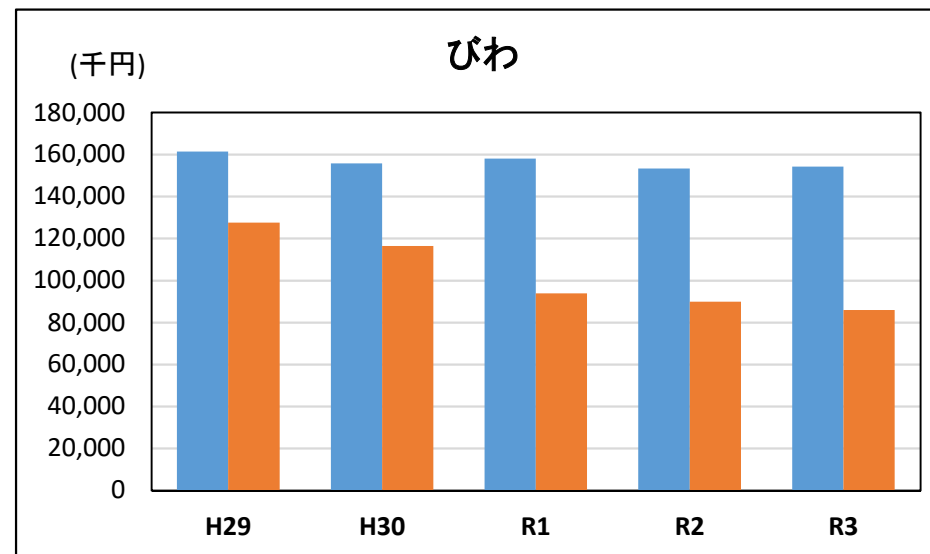
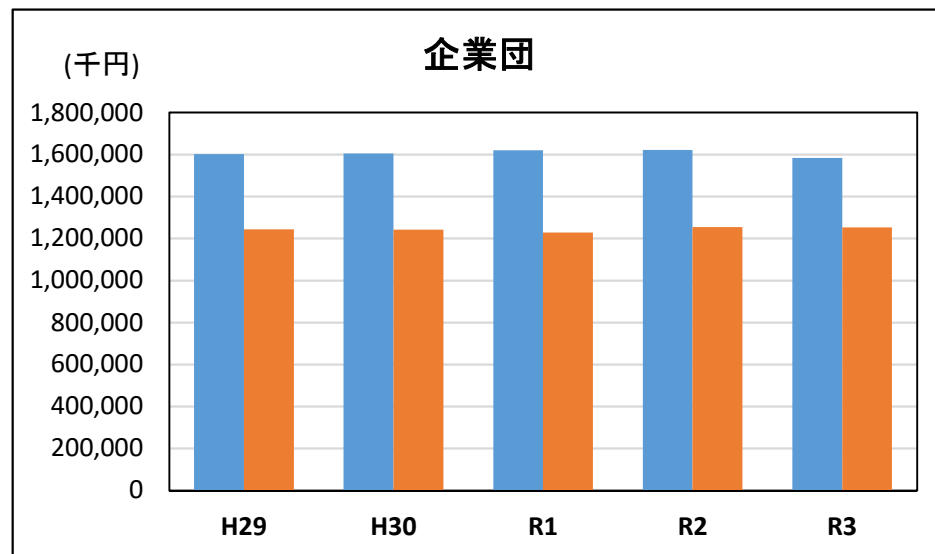
(収益的収入)

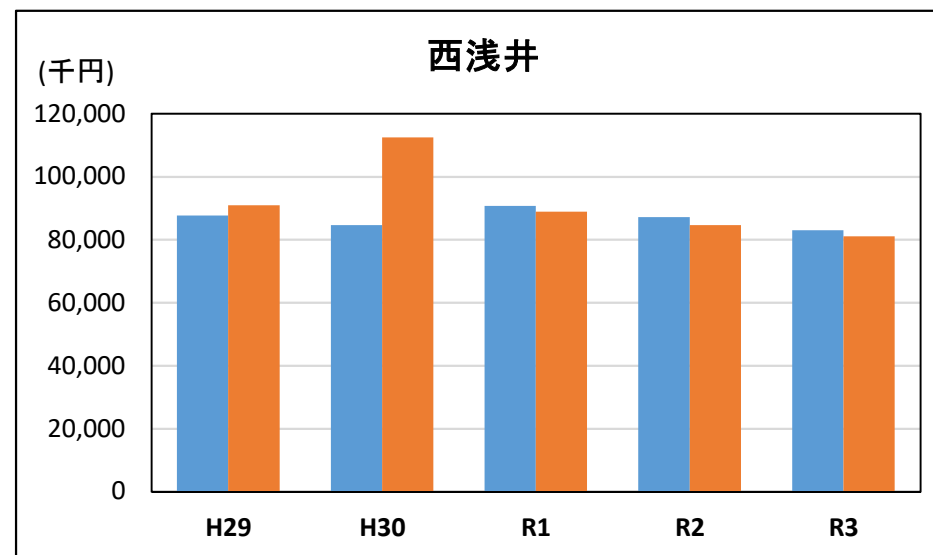
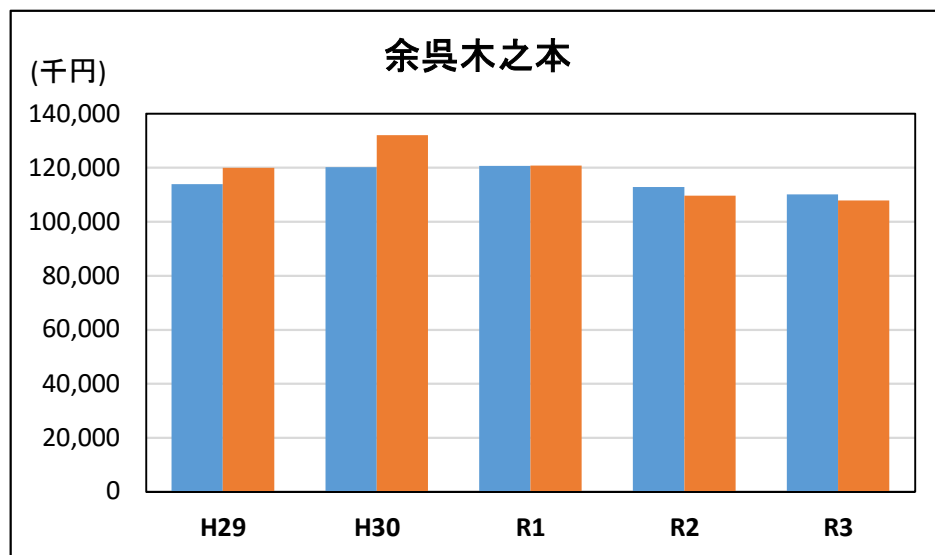
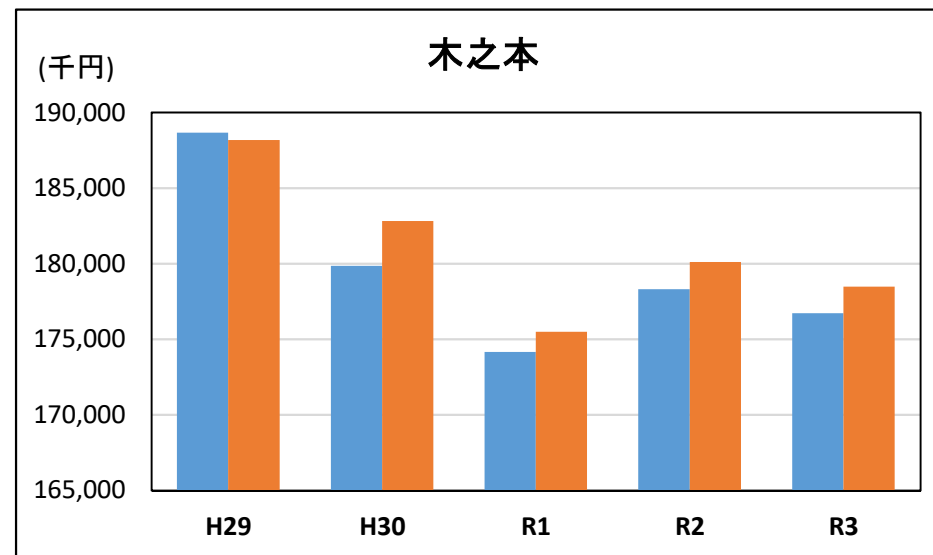
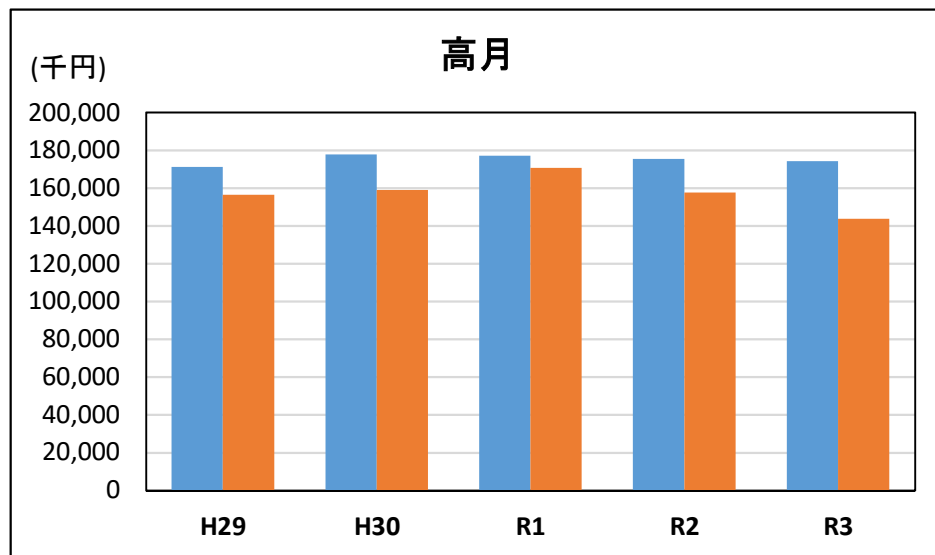
科目	令和3年度 千円	令和2年度 千円	前年度との比較 (増減率) 千円
水道事業 収益	2,879,853	2,931,684	△ 51,831 (△ 1.8 %)
水道料金	2,311,310	2,318,738	△ 7,428 (△ 0.3 %)
受託工事 収益	15,498	30,434	△ 14,936 (△ 49.1 %)
受託事業 収益	72,610	71,659	951 (1.3 %)
加入金	68,257	87,868	△ 19,611 (△ 22.3 %)
負担金	48,988	50,788	△ 1,800 (△ 3.5 %)
長期前受金 戻入	340,012	344,163	△ 4,151 (△ 1.2 %)
その他	23,178	28,034	△ 4,856 (△ 17.3 %)

(収益的支出)

科目	令和3年度 千円	令和2年度 千円	前年度との比較 (増減率) 千円
水道事業 費用	2,319,662	2,366,511	△ 46,849 (△ 2.0 %)
原浄水費	401,294	375,219	26,075 (6.9 %)
給配水費	169,215	159,826	9,389 (5.9 %)
業務費	167,782	168,795	△ 1,013 (△ 0.6 %)
総係費	135,430	159,834	△ 24,404 (△ 15.3 %)
減価償却費	1,110,433	1,136,523	△ 26,090 (△ 2.3 %)
支払利息	169,230	191,576	△ 22,346 (△ 11.7 %)
その他の 費用	14,094	14,752	△ 658 (△ 4.5 %)
消費税	152,184	159,986	△ 7,802 (△ 4.9 %)

収益的収支の推移





3

資本的収支の状況

地域水道ビジョンに基づく施設の統廃合や老朽施設の更新、公共工事に伴う水道管路の支障移設を行い、移設補償としての分担金や企業債を財源としました。このほか、水道水の安全性の確保のため、下坂浜浄水場活性炭注入設備更新工事や浅井上水道再構築事業、安定した給水のため、豊公園配水場ポンプのインバータ化や八条山配水池延命化事業を行い、財源として、企業債や損益勘定留保資金を中心とした内部留保資金を使用しました。

なお、一部の工事につきましては、令和4年度に繰り越しています。

(千円)

収入	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉・木之本	西浅井	合計
(1)企業債	207,600	0	22,600	73,100	4,700	0	39,900	1,600	349,500
(2)出資債	0	0	0	0	0	24	0	0	24
(3)補助金	0	0	3,113	0	0	0	0	0	3,113
(4)分担金	36,248	0	41,610	35,949	11,948	0	21,381	37,727	184,863
総収入	243,848	0	67,323	109,049	16,648	24	61,281	39,327	537,500
支出	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉・木之本	西浅井	合計
(1)建設改良費	220,446	5,739	25,808	78,844	11,183	0	39,869	1,582	383,471
(2)営業設備費	64,188	19	53	37	593	25	195	159	65,269
(3)企業債償還金	615,730	53,684	87,255	66,385	49,267	73,655	42,722	75,116	1,063,814
(4)予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総支出	900,364	59,442	113,116	145,266	61,043	73,680	82,786	76,857	1,512,554
差引	△ 656,516	△ 59,442	△ 45,793	△ 36,217	△ 44,395	△ 73,656	△ 21,505	△ 37,530	△ 975,054
補填財源	656,516	59,442	45,793	36,217	44,395	73,656	21,505	37,530	975,054
消費税	22,469	521	470	5,488	199	0	2,672	0	31,819
減債積立金	300,000	30,000	20,000	10,000	0	0	0	0	360,000
損益勘定留保資金									
過年度分	334,047	28,921	25,323	20,729	44,196	73,656	18,833	18,222	563,927
当年度分	0	0	0	0	0	0	0	19,308	19,308

(1) 企業団水道事業

収入	243,848 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	900,364 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	22,469 千円
差引	△ 656,516 千円	減債積立金	300,000 千円
		過年度分損益勘定資金	334,047 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

豊公園配水場ポンプのインバータ化のほか、JR北陸本線横断箇所や河川横断区間の配水管布設替工事等を行い、これらの財源として企業債を借り入れました。その他企業債の元金6億1,573万円を返済しています。

工事費の増加に伴い、財源となる企業債も増加しています。

活性炭注入設備更新工事、八条山配水池延命化事業および配水管布設替工事の一部を令和4年度に繰り越して実施します。

(資本的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	243,848	157,110	86,738 (55.2 %)
企業債	207,600	156,000	51,600 (33.1 %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	36,248	1,110	35,138 (3,165.6 %)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
上下水道料金システム更新に伴う負担金36,248千円

(資本的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	900,364	825,294	75,070 (9.1 %)
建設改良費	220,446	156,944	63,502 (40.5 %)
営業設備費	64,188	58,782	5,406 (9.2 %)
企業債償還金	615,730	609,568	6,162 (1.0 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(2) びわ上水道事業

収入	0 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	59,442 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	521 千円
差引	△ 59,442 千円		
		減債積立金	30,000 千円
		過年度分損益勘定資金	28,921 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

令和3年度は水道事業統合に伴う基本設計を行い、財源として内部留保資金を使用しました。その他企業債の元金5,368万4千円を返済しています。

(資本的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	0	1,125	△ 1,125 (△ 100.0 %)
企業債	0	0	0 (— %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	0	1,125	△ 1,125 (△ 100.0 %)

(資本的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	59,442	53,935	5,507 (10.2 %)
建設改良費	5,739	880	4,859 (552.2 %)
営業設備費	19	78	△ 59 (△ 75.6 %)
企業債償還金	53,684	52,977	707 (1.3 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(3) 浅井上水道事業

収入	67,323 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	113,116 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	470 千円
差引	△ 45,793 千円	減債積立金	20,000 千円
		過年度分損益勘定資金	25,323 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

野村浄水場および高山浄水場の改造に伴う詳細設計を行い、国庫補助金および企業債を財源としました。簡易水道統合事業の企業債の元金返済が8,725万5千円と大きな負担となっています。この返済について、統合簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が長浜市から繰り入れられています。配水管布設工事の一部を令和4年度に繰り越して実施します。

(資本的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	67,323	51,059	16,264 (31.9 %)
企業債	22,600	2,300	20,300 (882.6 %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	3,113	0	3,113 (— %)
分担金	41,610	48,759	△ 7,149 (△ 14.7 %)

(資本的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	113,116	127,321	△ 14,205 (△ 11.2 %)
建設改良費	25,808	37,456	△ 11,648 (△ 31.1 %)
営業設備費	53	71	△ 18 (△ 25.4 %)
企業債償還金	87,255	89,794	△ 2,539 (△ 2.8 %)
予備費	0	0	0 (— %)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費41,610千円

(4) 湖北簡易水道事業

収入	109,049 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	145,266 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	5,488 千円
差引	△ 36,217 千円	減債積立金	10,000 千円
		過年度分損益勘定資金	20,729 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

企業債を財源として、継続事業の西部地区配水管布設替工事のほか、中部浄水場電気盤更新の設計、下坂浜浄水場から小今賀地区へ給水するための連絡管布設工事を行いました。

その他企業債の元金6,638万5千円を返済し、この返済について、簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が長浜市から繰り入れられています。

(資本的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	109,049	110,279	△ 1,230 (△ 1.1%)
企業債	73,100	77,400	△ 4,300 (△ 5.6%)
出資債	0	0	0 (—%)
補助金	0	0	0 (—%)
分担金	35,949	32,879	3,070 (9.3%)

(資本的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	145,266	140,831	4,435 (3.1%)
建設改良費	78,844	78,393	451 (0.6%)
営業設備費	37	25	12 (48.0%)
企業債償還金	66,385	62,413	3,972 (6.4%)
予備費	0	0	0 (—%)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費35,949千円

(5) 高月上水道事業

収入	16,648千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	61,043千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	199千円
差引	△ 44,395千円	減債積立金	0千円
		過年度分損益勘定資金	44,196千円
		当年度分損益勘定留保資金	0千円

企業債および分担金を財源として、道路工事の支障となる配水管の移設工事を行ったほか、新井戸用地を取得しました。
 その他企業債の元金4,926万7千円を返済し、この返済の一部について、簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が長浜市から繰り入れられています。
 配水管布設工事の一部を令和4年度に繰り越して実施します。

(資本的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	16,648	50,610	△ 33,962 (△ 67.1%)
企業債	4,700	45,000	△ 40,300 (-%)
出資債	0	0	0 (-%)
補助金	0	0	0 (-%)
分担金	11,948	5,610	6,338 (113.0%)

(資本的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	61,043	97,397	△ 36,354 (△ 37.3%)
建設改良費	11,183	50,186	△ 39,003 (△ 77.7%)
営業設備費	593	145	448 (309.0%)
企業債償還金	49,267	47,066	2,201 (4.7%)
予備費	0	0	0 (-%)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
 簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費5,652千円

(6) 木之本水道事業

収入	24 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	73,680 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的	0 千円
差引	△ 73,656 千円	収支調整額	
		減債積立金	0 千円
		過年度分損益勘定資金	73,656 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

国道8号線賤ヶ岳橋架け替えに伴う支障移設工事を、令和4年度に繰り越して実施します。その他企業債の元金7,365万5千円を返済しています。

(資本的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	24	0	24 (- %)
企業債	0	0	0 (- %)
固定資産売却代金	24	0	24 (- %)
補助金	0	0	0 (- %)
分担金	0	0	0 (- %)

(資本的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	73,680	72,274	1,406 (1.9 %)
建設改良費	0	0	0 (- %)
営業設備費	25	14	11 (78.6 %)
企業債償還金	73,655	72,260	1,395 (1.9 %)
予備費	0	0	0 (- %)

(7) 余呉木之本簡易水道事業

収入	61,281 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	82,786 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	2,672 千円
差引	△ 21,505 千円	減債積立金	0 千円
		過年度分損益勘定資金	18,833 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

八戸配水池廃止のため、配水管布設替工事と、JR踏切下の配水管布設替工事に伴う設計を行い、財源として企業債を借り入れました。

その他企業債の元金4,272万2千円を返済し、この返済の一部について、簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が長浜市から繰り入れられています。

(資本的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	61,281	20,688	40,593 (196.2%)
企業債	39,900	0	39,900 (-%)
出資債	0	0	0 (-%)
補助金	0	0	0 (-%)
分担金	21,381	20,688	693 (3.3%)

(資本的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	82,786	41,367	41,419 (100.1%)
建設改良費	39,869	0	39,869 (-%)
営業設備費	195	7	188 (2,685.7%)
企業債償還金	42,722	41,360	1,362 (3.3%)
予備費	0	0	0 (-%)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費21,381千円

(8) 西浅井簡易水道事業

収入	39,327 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	76,857 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	0 千円
差引	△ 37,530 千円	減債積立金	0 千円
		過年度分損益勘定資金	18,222 千円
		当年度分損益勘定留保資金	19,308 千円

塩津中継ポンプ場の見直しに伴う配水管布設工事を行い、財源として企業債を借りました。

その他企業債の元金7,511万6千円を返済し、この返済の一部について、簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が長浜市から繰り入れられています。

(資本的収入)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	39,327	46,118	△ 6,791 (△ 14.7 %)
企業債	1,600	8,200	△ 6,600 (△ 80.5 %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	37,727	37,918	△ 191 (△ 0.5 %)

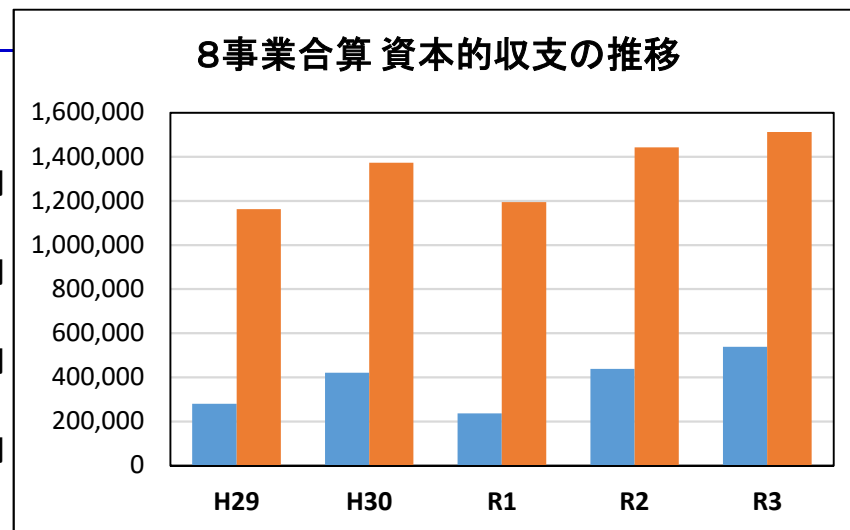
(資本的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	76,857	83,868	△ 7,011 (△ 8.4 %)
建設改良費	1,582	8,284	△ 6,702 (△ 80.9 %)
営業設備費	159	4	155 (3,875.0 %)
企業債償還金	75,116	75,580	△ 464 (△ 0.6 %)
予備費	0	0	0 (— %)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費37,727千円

(9) 8事業合算

収入	537,500 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	1,512,554 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	31,819 千円
差引	△ 975,054 千円	減債積立金	360,000 千円
		過年度分損益勘定資金	563,927 千円
		当年度分損益勘定留保資金	19,308 千円



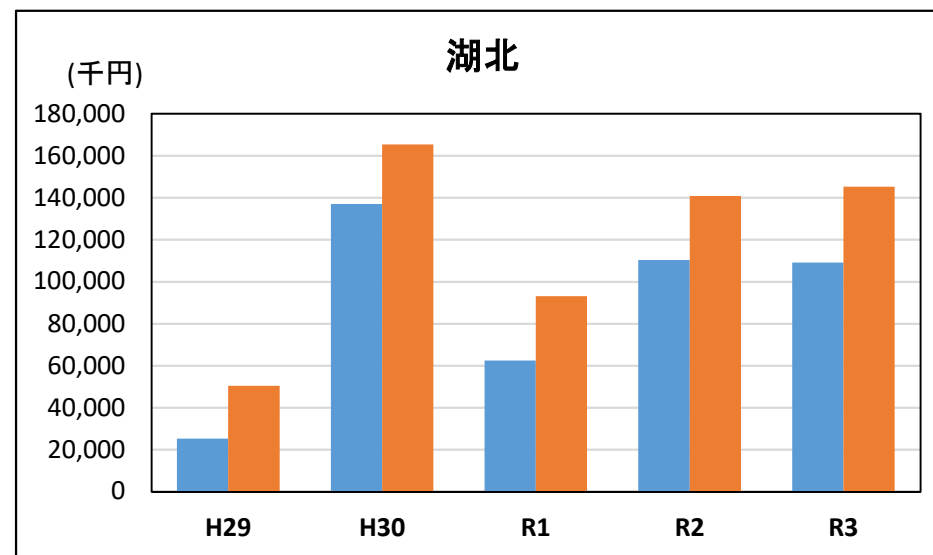
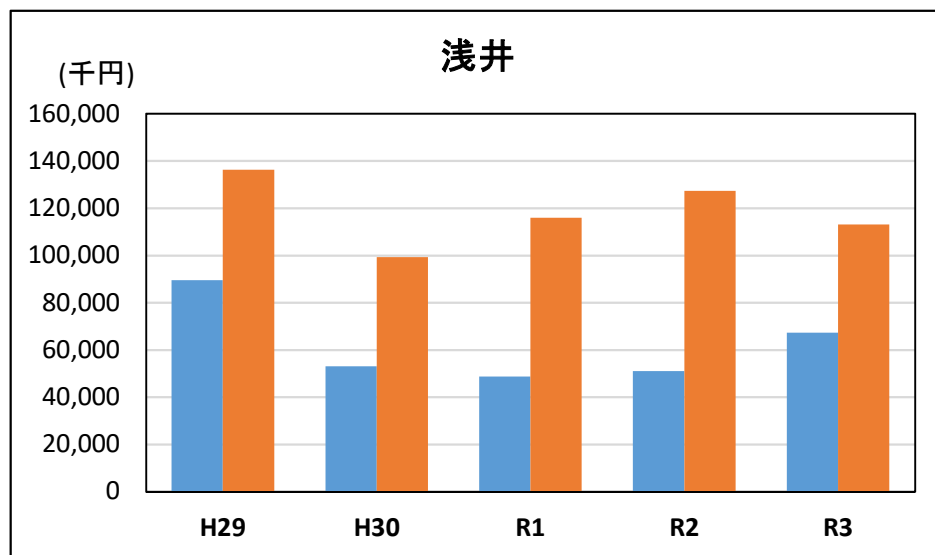
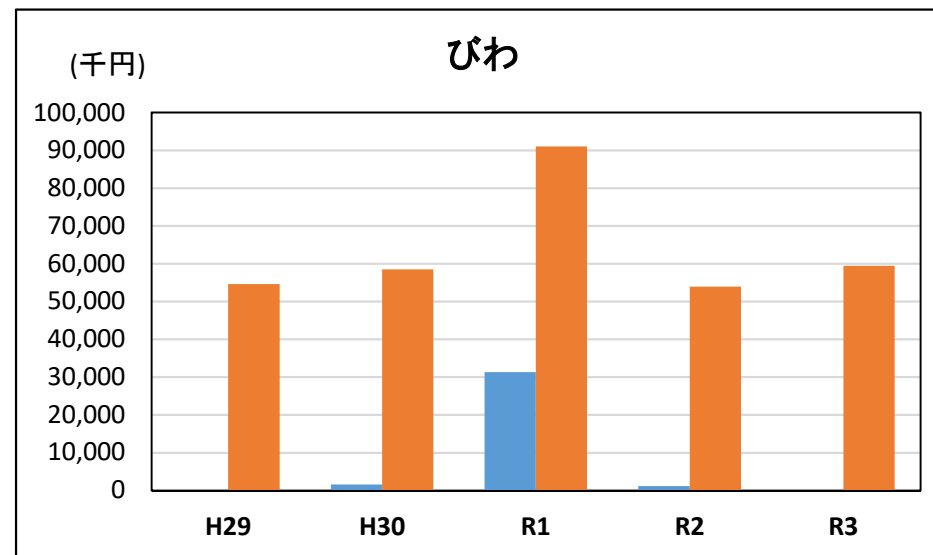
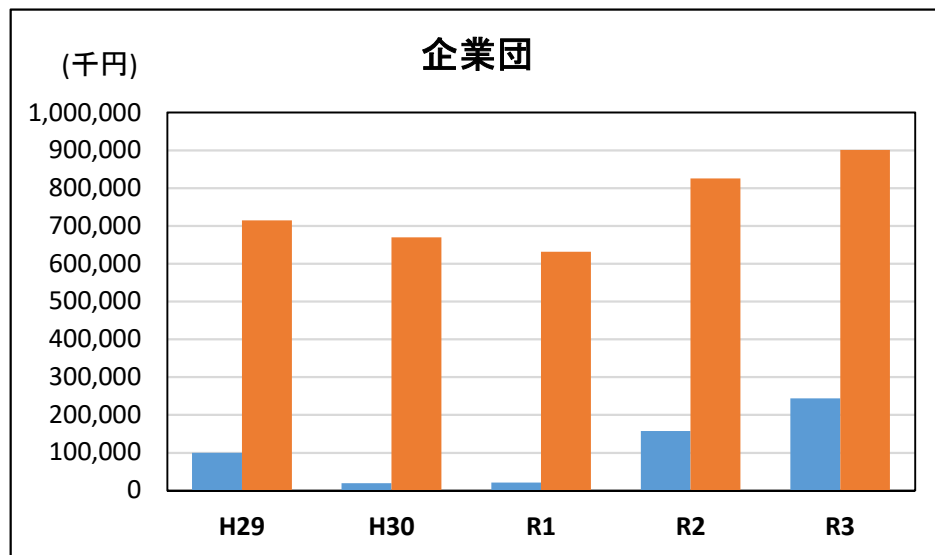
(資本的収入)

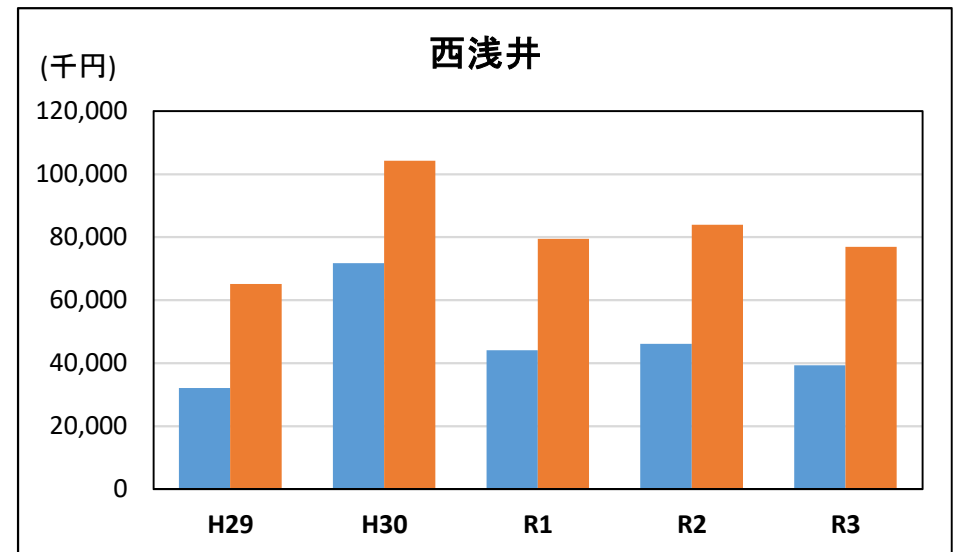
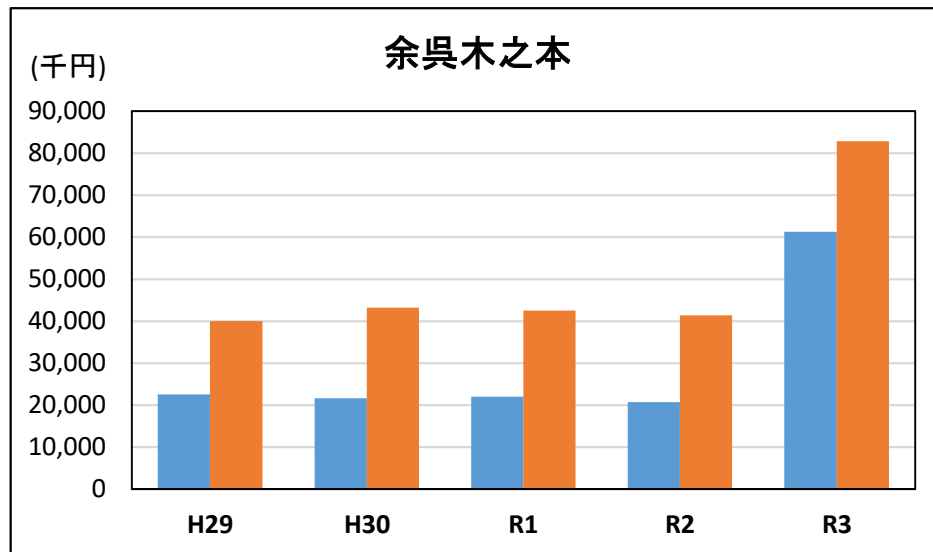
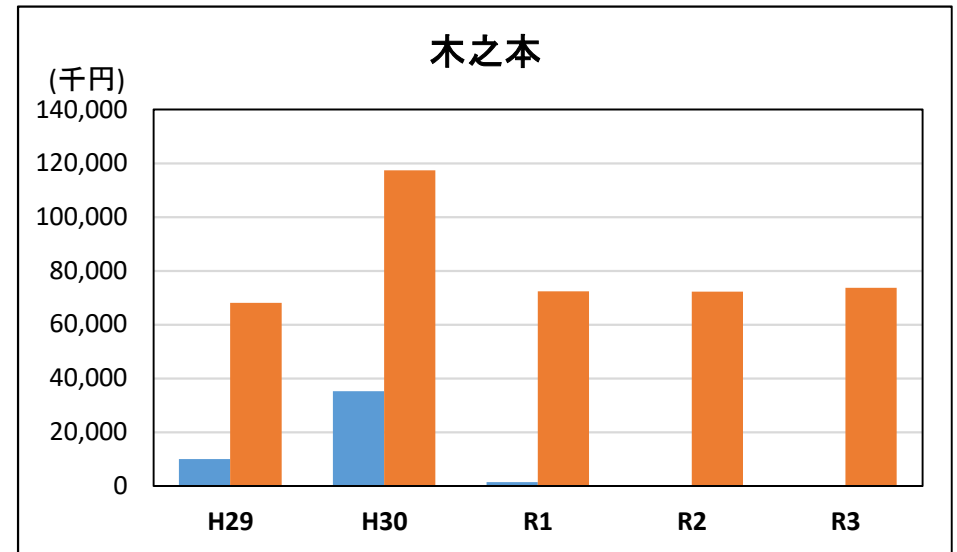
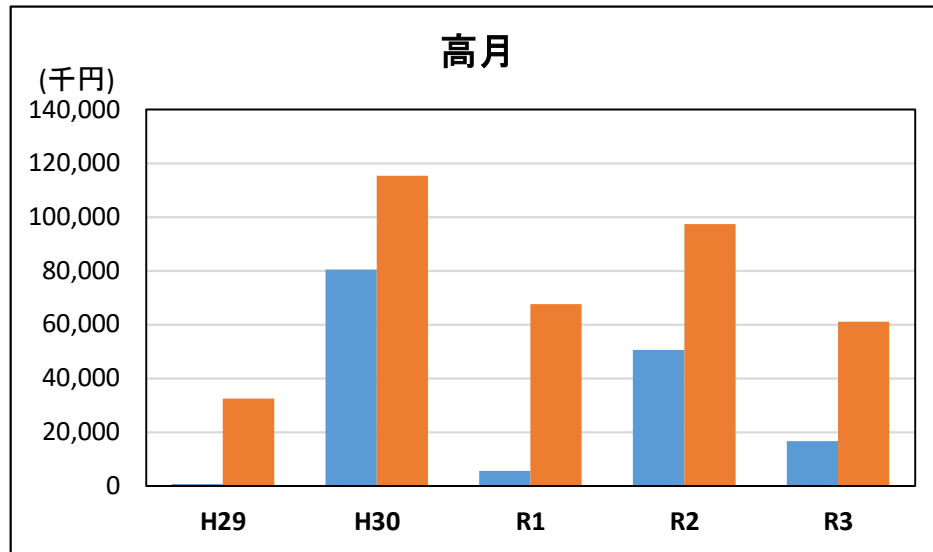
科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	537,500	436,989	100,511 (23.0 %)
企業債	349,500	288,900	60,600 (21.0 %)
固定資産売却代金	24	0	24 (— %)
補助金	3,113	0	3,113 (— %)
分担金	184,863	148,089	36,774 (24.8 %)

(資本的支出)

科目	令和3年度	令和2年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	1,512,554	1,442,287	70,267 (4.9 %)
建設改良費	383,471	332,143	51,328 (15.5 %)
営業設備費	65,269	59,126	6,143 (10.4 %)
企業債償還金	1,063,814	1,051,018	12,796 (1.2 %)
予備費	0	0	0 (— %)

資本的収支の推移





4 給水原価の状況

(1) 給水原価と供給単価

給水原価は、木之本、余呉木之本、西浅井区域で高く、供給単価は、高月が低く、木之本区域が高く、給水原価が供給単価を上回る木之本、余呉木之本、西浅井区域では、抜本的な対策が求められます。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
総費用(千円)	1,072,736	66,723	146,045	101,676	106,649	133,146	67,239	68,519
有収水量(千m3)	7,980	806	1,277	796	1,016	606	388	405
給水原価(円)	134.4	82.8	114.3	127.8	104.9	219.5	173.3	169.3
供給単価(円)	160.2	155.9	154.6	156.3	121.9	207.4	161.0	156.1

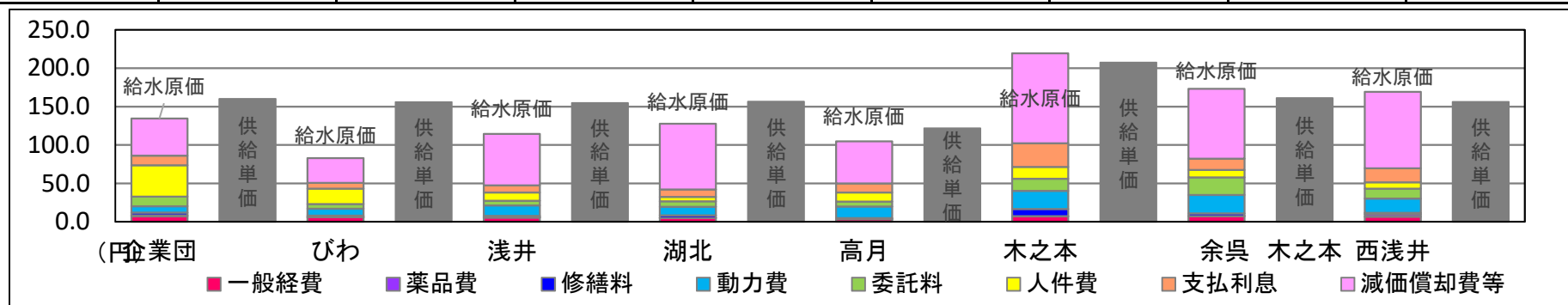
※給水原価(有収水量1m3あたりの費用) = {総費用 - (受託工事費 + 材料売却原価 + 長期前受金戻入)} ÷ 有収水量

※供給単価(有収水量1m3から得られる料金) = 水道料金収入 ÷ 有収水量

(2) 原価構成

大規模な建設工事を行った事業では全体的に1m3あたりの減価償却費等や支払利息が高く、膜処理施設を有する事業では運転のための動力費が高いほか、膜の洗浄など修繕料も高くなっています。(円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
減価償却費等	48.3	32.0	66.7	85.8	54.7	117.1	91.0	99.4
支払利息	12.5	7.5	9.2	9.5	11.9	31.0	14.6	18.3
人件費	40.6	20.2	10.9	5.8	11.9	15.4	9.9	8.3
委託料	12.6	6.1	6.1	7.0	6.4	15.6	22.9	13.0
動力費	8.2	9.0	13.5	11.0	15.2	23.7	23.9	18.5
修繕料	3.8	1.9	2.1	3.7	1.3	9.2	3.5	2.0
薬品費	1.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.2	3.0
一般経費	7.2	6.0	5.7	4.9	3.4	7.1	7.3	6.8
計	134.4	82.8	114.3	127.8	104.9	219.5	173.3	169.3

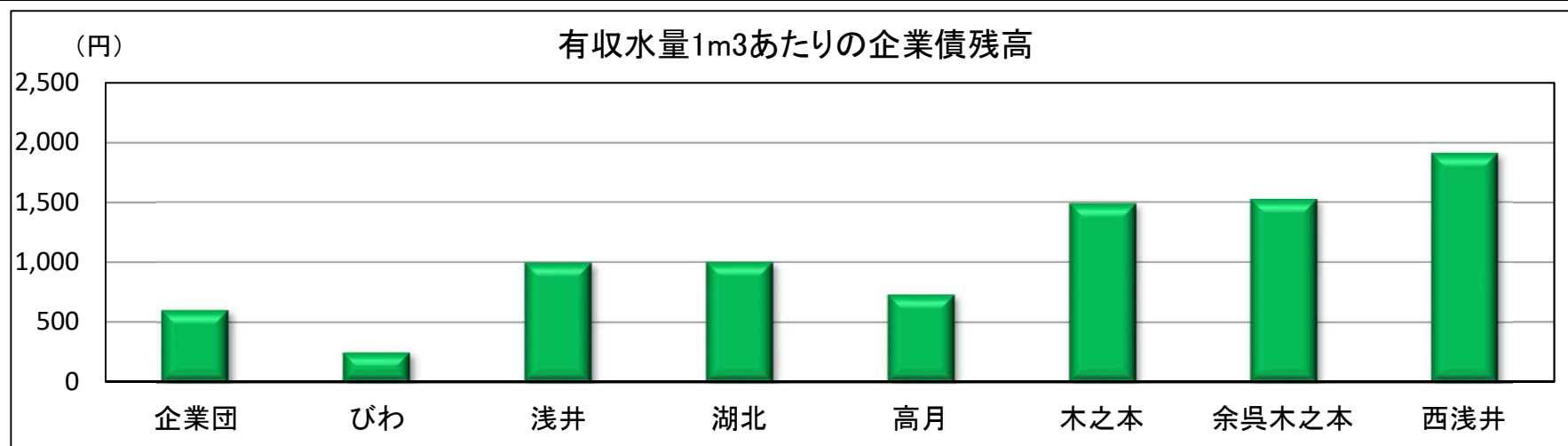


5 その他財政状況

(1) 企業債の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和2年度末残高	5,210,934	254,837	1,336,936	790,716	787,373	977,221	594,936	846,763
令和3年度借入額	207,600	0	22,600	73,100	4,700	0	39,900	1,600
令和3年度返済額	615,730	53,684	87,255	66,386	49,267	73,655	42,722	75,116
令和3年度末残高	4,802,804	201,153	1,272,281	797,430	742,806	903,566	592,114	773,247



(2) 内部留保資金の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和2年度末残高	709,364	431,164	613,738	430,505	370,572	389,652	80,385	18,222
令和3年度受入額	385,516	25,787	85,082	68,271	55,616	70,902	35,316	40,250
令和3年度使用額	334,047	28,921	25,322	20,729	44,196	73,656	18,834	37,530
令和3年度末残高	760,833	428,031	673,498	478,047	381,992	386,898	96,867	20,942

(3) 退職給与引当金の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和2年度末残高	311,253	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度受入額	43,000	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度使用額	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度末残高	354,253	0	0	0	0	0	0	0

(4) 減債積立金、利益積立金の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和2年度末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度受入額	300,000	30,000	20,000	10,000	0	0	0	0
令和3年度使用額	300,000	30,000	20,000	10,000	0	0	0	0
令和3年度末残高	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 建設改良積立金の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和2年度末残高	91,600	0	0	0	10,000	34,139	0	0
令和3年度受入額	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度使用額	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度末残高	91,600	0	0	0	10,000	34,139	0	0

(6) 修繕引当金、特別修繕積立金の状況

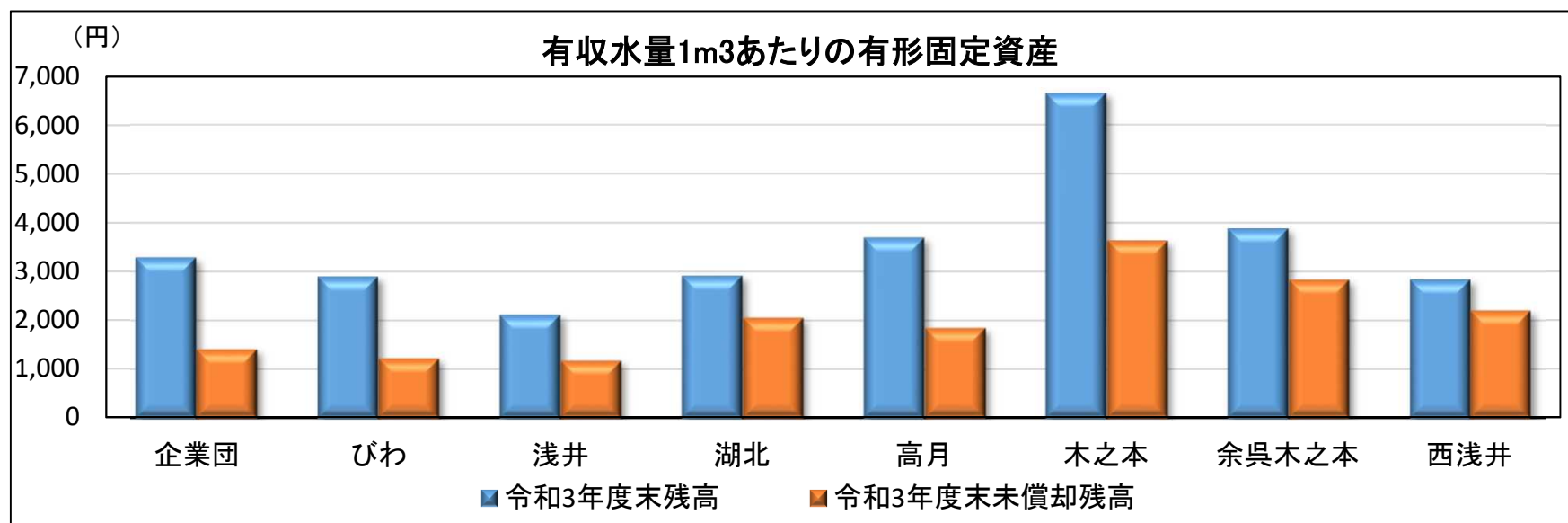
(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和2年度末残高	636,195	88,065	0	0	1,271	251	0	0
令和3年度受入額	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度使用額	7,424	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度末残高	628,771	88,065	0	0	1,271	251	0	0

(7) 有形固定資産の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和2年度末残高	25,955,821	2,322,542	2,682,640	2,251,939	3,745,111	4,068,364	1,469,355	1,147,823
令和3年度増加額	613,483	17,981	25,240	85,406	22,042	25	50,835	3,158
令和3年度減少額	335,836	2,694	0	16,432	10,284	36,031	14,412	1,575
令和3年度末残高	26,233,468	2,337,829	2,707,880	2,320,913	3,756,869	4,032,358	1,505,778	1,149,406
令和3年度末減価償却累計額	15,050,142	1,354,103	1,208,370	690,988	1,885,650	1,831,757	407,731	260,951
令和3年度末未償却残高	11,183,326	983,726	1,499,510	1,629,925	1,871,219	2,200,601	1,098,047	888,455



(8) 主な指標

※全国平均の比較対象

— 企業団 — 全国 — 滋賀県

	企業団	浅井・高月	木之本	びわ・湖北	余呉木之本	西浅井
給水人口	5万～10万人	1万～1.5万人	5千～1万人	5千～1万人	5千未満	5千未満
有収水量密度	平均未満	平均未満	平均未満	平均未満	平均未満	平均未満
水源	表流水	地下水	表流水	地下水	地下水	表流水

① 総収益対総費用比率 (%)

算式 (総収益 / 総費用) × 100

総収益と総費用を対比させ、企業の全活動の能率を表すもので、この比率が高いほど経営状態が良好である。

財政状況の厳しい木之本、余呉木之本、西浅井区域で低く、木之本区域は赤字のため100%未満となっている。



	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (令和2年度)
総収益対総費用比率	126.3	179.4	144.6	132.7	121.2	99.0	102.1	102.4	112.7
全国平均(令和2年度)	109.8	106.7	107.0	106.7	107.0	102.8	119.4	108.3	—

② 流動比率 (%)

算式 (流動資産 / 流動負債) × 100

短期債務に対してこれに必ずべき流動資産が十分にあるかどうかを示すもので、この比率が高ければ高いほど短期債務の支払に十分な流動資産を有していることになる。

企業債の元利償還が多い事業では低い傾向があり、企業団、木之本、余呉木之本、西浅井区域が低く特に西浅井区域は100%を下回っている。

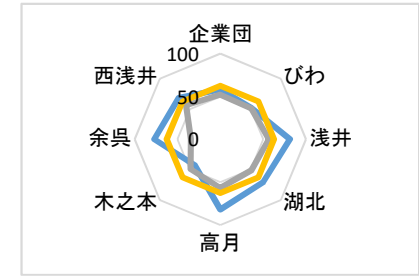


	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (令和2年度)
流動比率	300.5	1,416.1	814.9	921.8	1,150.7	251.7	242.9	73.7	321.7
全国平均(令和2年度)	326.8	320.1	267.8	320.1	267.8	238.6	396.8	342.9	—

③ 施設利用率 (%)

算式 (1日平均給水量 / 1日給水能力) × 100

1日配水能力に対する1日平均給水量の割合を示すもので、高すぎると施設能力に余裕がなく災害時に不安があり、低すぎると過大な能力を有する。
 浅井や高月は高く、施設に余裕がなく、木之本区域は低く、施設能力が過大であると考えられる。



	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (令和2年度)
施設利用率	58.3	51.6	81.4	70.6	81.8	42.3	77.2	68.5	62.6
全国平均(令和2年度)	52.2	51.2	56.7	51.2	56.7	49.2	34.3	56.5	—

④ 配水管使用効率 (m³/m)

算式 年間総給水量 / 導送配水管延長

導送配水管1m当たりの給水量をみて、その効率を計る。量が多いほど使用効率がよい。住宅などの多い都市部では高くなるが、住宅などが点在する山間部や農村では低くなる。
 山間部を抱える余呉木之本や西浅井で低くなっている。



	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (令和2年度)
配水管使用効率	18.5	17.2	10.6	12.5	16.4	18.6	5.2	9.8	17.5
全国平均(令和2年度)	12.0	8.0	9.7	8.0	9.7	6.0	9.1	10.0	—

⑤ 固定資産使用効率 (m³/万円)

算式 年間総給水量 / 有形固定資産

有形固定資産1万円当たりの給水量をみて、その効率を計る。量が多いほど使用効率がよい。人口密度が高い地域や設備投資が少ない事業では高くなる。
 近年設備投資の少ないびわと償却期間が終了した施設の多い浅井は高く、設備投資の大きい木之本では低くなっている。



	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (令和2年度)
固定資産使用効率	8.4	13.4	13.3	7.5	8.8	3.8	6.5	6.4	7.1
全国平均(令和2年度)	5.1	4.6	5.0	4.6	5.0	3.6	4.4	6.3	—

(1) 水道事業の統廃合に伴う下坂浜浄水場配水区域拡大関連工事(企業団、びわ、湖北小今・賀)

下坂浜浄水場の配水区域を旧びわ町全域と旧湖北町小今、賀へ拡大するもので、これにより豊公園配水場の配水量の増加が見込まれるため、配水ポンプをインバータ化しました。

びわ区域では、下坂浜浄水場からの水を安定して配水するための基本設計業務を、令和2年度から3年度にかけて委託しました。湖北小今・賀区域では、企業団から小今へ送水する連絡管を布設しました。



地区	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
企業団							
びわ			継	続	事	業	
小今賀							

(2) 水道事業の統廃合に伴う高月浄水場配水区域拡大関連工事(高月)

高月上水道、木之本上水道事業および湖北簡易水道事業(中部・西部・郡上)を統合し、高月上水道の配水区域を木之本上水道区域へ拡大するもので、基本計画の策定および認可変更業務を令和4年度に繰り越して実施します。



地区	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
高月							

(3) 下坂浜浄水場活性炭注入設備更新工事(企業団)

プランクトンによる生臭臭やカビ臭を防止するため、下坂浜浄水場の活性炭注入設備を更新するもので、令和4年度に繰り越して実施します。

(4) 浅井上水道再構築事業(浅井)

野村浄水場は、遊離炭酸の数値が高いため、エアレーション設備を増設し、高山浄水場は、クリプトスポリジウムのリスクが高いため、急速ろ過設備を増設するもので、令和3年度はこれらの改造のための詳細設計業務を委託しました。



地区	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
野村							
高山			継	続	事	業	

(5) 八条山第3配水池送水管布設替工事(企業団)

下坂浜浄水場から八条山第3配水池への送水管の布設替工事を行うもので、令和3年度は配管ルートや口径、施工方法を検討する概略設計業務を委託し、実施設計業務を令和4年度に繰り越して実施します。



地区	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
企業団			継	続	事	業	

(6) 八条山配水池延命化工事(企業団)

老朽化が進む八条山配水池の延命補強工事を行うもので、補強の方法や工事の進め方を検討する基本計画業務を令和4年度に繰り越して実施します。

(7) 余呉木之本簡易水道事業八戸配水池廃止に伴う配管整備(余呉木之本)

八戸配水池と前後の石綿セメント管を廃止するため管路整備を行うもので、令和3年度予定区間の配管整備工事を完了し、JR踏切下の配水管を布設替えするための概略設計業務を委託しました。



(8) 配水管整備事業(企業団、びわ、湖北、高月、木之本)

送配水管路のうち漏水の危険性の高い区間や老朽化した区間の布設替、道路や河川工事に伴い支障となる区間の移設、水道工事跡の舗装本復旧工事等を行い、一部工事について令和4年度に繰り越して実施します。

【企業団】令和2年度から繰り越したJR踏切下の配水管布設替工事や河川推進工事、水道工事跡の舗装復旧工事を行いました。県道拡幅工事に伴う支障移設工事については令和4年度に繰り越して実施します。

【びわ】水道工事跡の舗装復旧工事を行いました。

【湖北】湖北西部簡易水道において、令和2年度から5年間の配水管更新事業を行っており、令和3年度は設計業務委託、配水管布設替工事および舗装復旧工事を行いました。

【高月】令和2年度から繰り越した道路備工事に伴う支障移設工事を行いました。また、長浜市高月町森本において、令和2年度から4年間の配水管更新事業を行っています。

【木之本】橋梁架替に伴う支障移設工事を令和4年度に繰り越して実施します。

地区	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
長浜近江虎姫							
地区	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
びわ・新居町							
地区	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
湖北基幹管路		継続事業					
地区	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
木之本町古橋							
高月町森本		継続事業					
地区	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
木之本町大音							